

全日制 県立小鹿野高等学校（総合学科）

平成31年度入学者選抜

選抜の基本方針

- (1) 学力検査と調査書の記録のバランスを配慮し、選抜する。
- (2) 面接を実施し、受検生の意欲・態度を積極的に評価する。
- (3) 特別活動等に積極的に取り組んだ者を評価する。

選抜資料

○学力検査の扱い		……………	[5 0 0 点]																					
○調査書の扱い	<table border="0"> <tr> <td>学習の記録の得点</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>(1 : 1 : 2)</td> <td>……………</td> <td>(1 8 0 点)</td> </tr> <tr> <td>特別活動等の記録の得点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>……………</td> <td>(5 0 点)</td> </tr> <tr> <td>その他の項目の得点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>……………</td> <td>(2 0 点)</td> </tr> </table>	学習の記録の得点	1年	2年	3年	(1 : 1 : 2)	……………	(1 8 0 点)	特別活動等の記録の得点					……………	(5 0 点)	その他の項目の得点					……………	(2 0 点)	} ……	[2 5 0 点]
学習の記録の得点	1年	2年	3年	(1 : 1 : 2)	……………	(1 8 0 点)																		
特別活動等の記録の得点					……………	(5 0 点)																		
その他の項目の得点					……………	(2 0 点)																		
○その他の資料	面接	……………	[5 0 点]																					

一般募集

- 第1次選抜（80%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③面接	④合計
500点	500点	50点	1050点

- 第2次選抜（20%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計
500点	600点	50点	1150点

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（50点）】

- 学級活動・生徒会活動・学校行事
以下の区分により得点を加算する。
区分A 生徒会長、生徒会副会長、その他生徒会役員など
区分B 学級委員、各種委員会委員長、委員会副委員長
区分C 学級の委員について評価する。

○部活動

以下の区分により得点を加算する。

運動部

- 区分A 県大会以上の大会に出場した者（団体・個人）
- 区分B 都市大会（県予選を兼ねる）入賞又はこれに準ずる大会に入賞した者
- 区分C その他評価できる者

文化部

- 区分A 県以上の大会に出展、出品、入選、出場した者
- 区分B 都市の大会に出展、出品し、入選、入賞した者
- 区分C その他評価できる者

【その他の項目の得点（20点）】

○資格取得等

以下の資格を取得している場合に得点を加算する。

- ・ワープロ検定4級以上・珠算検定3級以上・英語検定5級以上・漢字検定5級以上
- ・数学検定5級以上・理科検定5級以上・歴史検定5級以上・硬筆4級以上
- ・書道初段以上・柔道2級以上・剣道2級以上・弓道初段以上・空手初段以上
- ・スキー3級以上・アマチュア無線4級以上など

○地域のクラブ活動等

- ・部活動（運動部・文化部）に準じて評価する。

第2志望

なし

その他

なし

【選抜基準をみる上での注意事項】

全日制 県立〇〇〇高等学校（〇〇科）

平成31年度入学者選抜

選抜の基本方針																					
(1)して選抜する。	学校選択問題を実施する場合は、この部分に記載しています。																				
(2)に配慮する。	傾斜配点を実施する場合は、この部分に該当教科を記載しています。																				
選抜資料																					
○学力検査の扱い [500点]																				
○調査書の扱い	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習の記録の得点</td> <td>(1</td> <td>: 1</td> <td>: 2)</td> <td>..... (180点)</td> </tr> <tr> <td>特別活動等の記録の得点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>..... (50点)</td> </tr> <tr> <td>その他の項目の得点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>..... (20点)</td> </tr> </table>		1年	2年	3年		学習の記録の得点	(1	: 1	: 2) (180点)	特別活動等の記録の得点			 (50点)	その他の項目の得点			 (20点)
	1年	2年	3年																		
学習の記録の得点	(1	: 1	: 2) (180点)																	
特別活動等の記録の得点			 (50点)																	
その他の項目の得点			 (20点)																	
○その他の資料	面接 [50点]																				

学習の記録の得点については、各学年9教科5段階評定ですので、この例では45(点)×(1+1+2)=180(点)

●第1次選抜（70%を入学許可候補者とする）
（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③面接	④合計
500点	400点	50点	950点

各高校は、調査書の得点の合計に、各高校が定めた係数を乗じて②の換算点を算出します。この例では「400/250」です。調査書の得点②を計算する場合は、この「400/250」を乗じることになります。小数点以下の端数は四捨五入することを原則としています。第2次選抜の⑥の得点も「600/250」を乗じて、同様に計算できます。面接及び実技検査の得点についても同様に計算できます。

学力検査と調査書の得点の比については、第1次選抜では4/6～6/4、第2次選抜では3/7～7/3の範囲の値になります。

●第2次選抜（25%を入学許可候補者とする）
（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計
500点	600点	100点	1200点

「面接」を行う場合「⑦面接」欄に、この例では100点と示しています。「実技検査」を行う場合「⑦実技検査」欄に〇〇点と示します。面接や実技検査を実施しない場合「⑦その他」欄に「実施しない」と示しています。第1次選抜の③欄も同様です。

●第3次選抜（5%を入学許可候補者とする）
第1次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、特別活動等の記録の得点で選抜する。

調査書の扱いの詳細	
【特別活動等の記録の得点（50点）】	
○学級活動・生徒会活動 ※以下の活動に対して得点を与える	
・生徒会長、生徒会副会長、その他生徒会役員など	
・各種委員会委員長、委員会副委員長	
・学級委員長又はこれに準ずるもの	
・その他評価できるもの	
○部活動 ※以下の活動に対して得点を与える	
運動部 全国大会出場、関東大会出場、県大会入賞、県大会出場、県	
文化部 全国大会出場・出展、関東大会出場・出展、県大会入賞など	
○調査書の「5その他」欄に記載された活動のうち、運動部・文化部に準じて評価できるものに対して得点を与える。	
【その他の項目の得点（20点）】	
○資格取得等 以下の資格を取得し	
○○検定4級以上、○○検定3級以上、○○検定3級以上など	
○出欠の記録	
出席状況が特に良好な場合に得点を与える。	

「第1次選抜における合計得点の一定の順位の対象に」とある場合は、第3次選抜の最初の段階で、選抜の対象を第1次選抜で用いた得点の一定の順位まで絞り込むことを意味しています。この記述がない場合は、残ったすべての者を対象に第3次選抜を行うことを意味しています。

具体的な評価項目を記載しています。【その他の項目の得点】についても同様です

「第2志望」の欄には、「第2志望」や「第2志望に準ずる志望」に関することがらを記載しています。当該学科がない場合は「なし」としてあります。

第2志望	
なし	
その他	
なし	

「その他」の欄には、通学時間・通学距離の扱い、外国人特別選抜などの特別選抜に関することがらを記載しています。記載事項がない場合は「なし」としてあります。

（注）第1次選抜、第2次選抜及び第3次選抜の人員については、同点者の扱いや、小数点以下の数値処理などの理由により、若干増減することがあります。